

12 月定例記者会見 市長原稿

それでは、12月の定例記者会見を始めます。

さて、12月も押し迫り、2025年も残りわずかとなりました。

この1年も、市民の皆さんが「住みよいまち、住んでよかったと思えるまちにしたい」、そして「誇りに思えるまちにしたい」との気持ちを胸に、多くのチャレンジをいたしました。

いくつか例を挙げますと、「スポーツクライミングのまちづくり」では、キックオフイベントとしてユースクライミング大会を開催しました。参加した選手の挑戦する姿や応援に訪れた方々、関係者の皆さんが一体となって応援する会場の雰囲気は忘れがたいものでした。

サッカー・Jリーグでは、本市がフレンドリータウンとなっている鹿島アントラーズがJ1で優勝、本市出身の鷹啄トラビス選手が所属し、本市マスコットキャラクターまいりゅうとも交流がある水戸ホーリーホックがJ2で優勝しました。両チームを通し、本市の魅力を発信できた年でもありました。改めて両チームの優勝を心からお祝い申し上げます。

また、本市の誇るブランド農産物「龍ヶ崎トマト」の認知度向上に向け、東京・渋谷で期間限定のポップアップレストランを出店し、多くの方に本市の“食”を感じていただけたのではないかと思います。

さらに、市民生活に潤いを与える公園の魅力をいっそう高めるため、「森林公園リニューアル事業」に加え、北竜台公園および龍ヶ岡公園の魅力向上に向けた「サウンディング調査」に着手しました。

一方、行政サービスの効率化や市民生活の利便性向上の観点では、小児科医に気軽に相談できる「小児科オンライン」の導入、市役所の一部窓口における「こどもファストトラック」のスタート、市公式LINEを活用した各種予約のオンライン化など、時代のニーズにあわせ、デジタルを活用した取り組みを積極的に進めた年でもあります。

さらに、全国的に人口減少が進む中、本市でも人口減少対策は喫緊の課題と捉え、「定住人口の獲得」、そして、市民の推奨意欲や参画意欲を高めることによる「シビックプライドの醸成」にも力を注ぎました。

初めての取り組みでも、継続した取り組みでも、現場で汗を流した市民の皆さまや職員一人ひとりの頑張りは、このまちの明るい未来につながるものと信じています。

2026年も龍ヶ崎の明るい未来の実現に向けて、市民の皆さまや職員と対話を重ね、これま

での歩みを止めることなく、引き続き信念と強い決意を持って、まちづくりを進めていきたい、そう考えているところであります。

そして、記者の皆様には、今年一年、こうした取り組みをはじめとする「龍ヶ崎市」の話題を数多く取り上げていただき、ありがとうございました。

この場をお借りいたしまして御礼申し上げますとともに、来年以降も変わらぬ、お力添えをいただきますようお願い申し上げます。

それでは、本日の情報提供に入ります。

はじめに、「シン・いばらきメシ総選挙 2026 龍ヶ崎市代表決定戦」に関する情報提供です。

龍ヶ崎市観光物産協会では、令和 8 年 3 月 28 日・土曜日、龍ヶ岡公園で開催する「桜まつり」にあわせ、「シン・いばらきメシ総選挙 2026 龍ヶ崎市代表決定戦」を実施します。

「シン・いばらきメシ総選挙」は、茨城県を代表する新たなグルメの創出を目的に、県内各市町村からエントリーされたグルメの中から、来場者の投票により“茨城県最強のご当地グルメ”を決定するイベントです。昨年 10 月、水戸市で開催された初回の総選挙には、県内全 44 市町村が参加し、延べ約 6 万 4 千人が来場するなど、大きな盛り上がりを見せました。

第 2 回となる令和 8 年 10 月の総選挙本選に向け、本市では初めてとなる市代表決定戦を開催します。今回の代表決定戦は、本選に出場する市代表を選出するとともに、龍ヶ崎市ならではのご当地グルメやスイーツの魅力を市内外に広く発信することを目的としています。

エントリー期間は、12 月 24 日から令和 8 年 2 月 13 日まで、応募多数の場合は、一般料理部門、スイーツ部門それぞれについて、事前の書類選考により概ね 3 店舗を選出したうえで、代表決定戦を実施する予定です。

当日は、ご来場いただいた皆様による投票で、各部門の上位 1 店舗を龍ヶ崎市代表として選出します。

代表に選ばれた店舗には、令和 8 年 10 月 10 日から 12 日に開催予定の本選に出場していただきます。

本市では現在、新たな地域資源の掘り起こしに取り組んでおり、今回の代表決定戦を通じて、新たな龍ヶ崎市のご当地グルメが誕生することを期待しています。

次に、ユースクライミング大会「AKIYO's DREAM with RYUGASAKI」に関する情報提供です。

本大会は小・中学生を対象としたクライミング大会で、昨年度に続き 2 回目の開催となり、本日もお越しいただいている、本市出身のプロフリークライマーであり、龍ヶ崎ふるさと大使でもある野口啓代さんとの共催事業として実施します。

開催日は、令和 8 年 2 月 7 日・土曜日と 8 日・日曜日の 2 日間となっており、会場は、ニューライフアリーナ龍ヶ崎のメインアリーナです。なお、参加申し込みは現在受付中で、令和 8 年 1 月 26 日まで、インターネットで受け付けています。

大会は「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」の発信をはじめ、地域活性化や次世代クライマーの育成につなげることを目的としており、国内外から集まるユース世代のクライマーの挑戦を後押しするものです。

初めて開催した昨年度は「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎推進事業」のキックオフイベントとして実施し、国内外から 200 人を超える選手にご参加いただきました。

第 2 回となる今回も、日本を代表する豪華なゲストクライマーや、国内外で実績のある著名なルートセッター陣を迎えるなど、国内トップクラスの環境で実施する点が大きな特徴です。

競技は、1 日目が小学 3 年生から 6 年生、2 日目が中学 1 年生から 3 年生を対象とし、いずれもボルダー競技形式で予選と決勝を行います。

また、会場では、野口啓代さんをはじめとしたトップクライマーによるサイン会などを予定しているほか、地元キッチンカーの出店、市内中学校の吹奏楽部の演奏、体験ウォールの一般開放など、来場者にも楽しんでいただける企画を準備しています。

未来を担うユースクライマーの皆さんに幅広く参加いただくとともに、観戦無料ですので、ぜひ多くの皆様に会場に足を運んでいただき、「ガンバ」のかけ声で選手を後押ししていただければ幸いです。

「AKIYO's DREAM with RYUGASAKI」は、「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」を象徴する大会です。私自身も、当日は会場に足を運び、昨年度を上回る熱気の中で、皆さんとともに選手へエールを送りたいと思います。

最後に、広報龍ヶ崎『りゅうほー』の音声配信を YouTube で配信開始に関する情報提供です。

本市では、市広報紙「広報龍ヶ崎『りゅうほー』」の音声配信を、令和 7 年 12 月号から市公式 YouTube チャンネルで開始しました。

これまでも、視覚に障がいのある方への配慮として、広報紙の音声データを市公式ホームページで公開してきました。

今回、YouTube という身近なデジタル媒体を活用することで、スマートフォンやタブレットから、いつでも、どこでも、手軽に広報紙の内容を音声で聞くことが可能になります。

例えば、電車やバスなどでの通勤・通学中や家事をしながらの「ながら聞き」などでの利用も期待しているところです。

なお、この音声配信は、地域で活動されているボランティア団体「龍ヶ崎朗読の会」の皆さんのご協力によって成り立っています。

長年にわたり、市広報紙をより多くの方に届けるため、丁寧に声を届けてくださっている皆さんは、本市の広報活動に欠かせない大切なパートナーです。市民同士の支え合いによって生まれた音声は、デジタルの力によって、さらに多くの方に届くことを大変心強く感じています。

本市では今後も、「情報を出す」だけで満足するのではなく、「きちんと伝わっているか」「本当に必要とする人に届いているか」を意識しながら、誰一人取り残さない情報発信に取り組んでまいります。